

# 国境マラソンI N対馬



一斉にスタートするハーフマラソン

7月4日(日)、上対馬町「三宇田浜海水浴場」をスタート、ゴールにして、第8回国境マラソンI N対馬が、韓国からの参加者53名を含む929名が参加して開催されました。  
当日は、台風7号が接近する風の強い1日で、大会が開催できるのか心配されましたが、競技中は雨は強くならず、2km、3km、5km、10km、ハーフマラソン、ウォーキングの各種目が無事に行われました。

## 【大会結果】 1位のみ掲載

(速さを競わないウォーキング部門は除く)

### 《2km部門》 小学4年男子

中庭拓洋(豊玉町仁位) 7分32秒 小学4年女子 白石瑞規(上県町犬ヶ浦) 8分42秒 小学5年男子 多田光博(峰町三根) 7分45秒 小学5年女子 辻香穂(上対馬町泉) 8分22秒 小学6年男子 齋藤準基(豊玉町仁位) 7分19秒 小学6年女子 依菜奈美(美津島町雞知) 7分46秒



中学男子ゴール直前、デッドヒート

### 《3km部門》

中学男子 堀亮太(豊玉町仁位) 9分46秒 中学女子 川上菜月(美津島町雞知) 11分11秒 一般男子 49歳以下 阿比留潤(志

岐市) 9分38秒 一般男子 50歳以上 城臺隆光(美津島町大船越) 11分15秒 一般女子 高校生以上 阿比留智恵(峰町佐賀) 14分06秒



5kmの最後を飾るコスプレ参加者

### 《5km部門》

一般男子 高校生以上 39歳以下 奥田秀和(岐阜県蛭川村) 16分37秒 一般男子 40歳以上 古藤要(上県町佐須奈) 23分22秒 一般女子 高校生以上 39歳以下 小林唯(美津島町雞知) 19分58秒 一般女子 40歳以上 キム・テソク(韓国) 27分24秒



一般女子10kmの優勝 若杉選手

### 《10km部門》

一般男子 高校生以上 39歳以下 平尾隆弘(志岐市) 34分01秒 一般男子 40歳以上 坂井一夫(北九州市) 37分21秒 一般女子 高校生以上 39歳以下 若杉未央(長崎市) 36分50秒 一般女子 40歳以上 西田恵子(大牟田市) 60分37秒

### 《ハーフマラソン部門》

一般男子 高校生以上 39歳以下 イ・ホングク(韓国) 1時間08分52秒 一般男子 40歳以上 倉掛俊一(福岡県夜須町) 1時間18分16秒 一般男子 50歳以上 内山徳弘(厳原町久田) 1時間22分36秒 一般女子 久家友香理(福岡市) 1時間18分42秒



子供たちも給水のボランティア

# 猛暑の陸上大会



優勝した峰町チーム

真夏の日差しが照りつけ、暑い日になった7月18日(日)、峰町運動公園陸上競技場で、第50回対馬島民体育大会陸上競技大会が開かれました。大会は各町対抗で、小学生から大人まで300名を超える選手が参加、炎天下の中、熱戦を繰りひろげ、峰町が、平成5年以来11年ぶりに団体総合優勝を飾りました。成績は次のとおりです。

【団体】男子 厳原町256点  
女子 峰町132点  
総合 峰町366点

【男子】《百メートル》 A 佐伯真吾(豊玉) 11秒9 B 国分和幸(厳原) 11秒6 C 八木信也(峰) 13秒4 D 小山満信(厳原) 13秒3 E

扇秀雄(上対馬) 13秒4  
高校生 佐々木忍(峰) 12秒5  
小学生 藤川周平(豊玉) 14秒1 《2百メートル》 A 築城貴憲(豊玉) 25秒7 《4百メートル》 A 増本俊洋(美津島) 56秒4 B 永留秀敏(峰) 59秒6 高校生 永留拓(峰) 69秒1 《8百メートル》 A 日高善治(厳原) 2分18秒1 《千5百メートル》 A 井貴詞(美津島) 4分42秒9 高校生 松原大三(豊玉) 4分49秒5 《5千メートル》 A 日高久朋(厳原) 17分48秒0 B 土肥正幸(美津島) 16分05秒9 (新記録) C 田崎哲二(厳原) 20分32秒9 D 内山徳博(厳原) 18分37秒9 E 城臺隆光(美津島) 19分55秒8 高校生 嶺竜二(厳原) 20分20秒9 《4百メートル》 年代別 豊玉(佐伯・築城・扇・阿比留) 50秒2 高校生 峰(辻・日高・永留・佐々木) 50秒6 中学生 厳原(畑島・中村・馬場・吉永) 48秒9 小学生 豊玉(藤川・小宮・井村・斉藤) 56秒4 《走高跳》 A 犬束興樹(美津島) 1m90 B 佐伯直也(峰) 1m65 《走幅跳》 A 堀恵太(豊玉) 5m83 B 佐伯直也(峰) 5m85 C 小田

秀敏(豊玉) 5m19 D 平山祝詞(豊玉) 5m08 E 永留安生(峰) 4m60 高校生 佐々木忍(峰) 5m88 《三段跳》 A 手束修二(厳原) 11m88 《砲丸投》 A 阿比留康宏(豊玉) 11m04 B 原田武茂(豊玉) 11m04 C 鎌田眞一(厳原) 11m47 D 一宮義幸(厳原) 12m80 (新記録) E 渡辺博美(厳原) 9m99 (新記録) 高校生 双須貴将(峰) 10m63 《円盤投》 A 佐伯直也(峰) 31m65

【女子】《百メートル》 A 梅野笑美(豊玉) 14秒6 B 松尾淳子(峰) 15秒3 高校生 平山華奈子(豊玉) 14秒8 小学生 財部愛理(上対馬) 14秒4 《4百メートル》 高校生 平山尚美(峰) 72秒8 《8百メートル》 高校生 平山美香(峰) 2分44秒0 《千5百メートル》 A 築城美香(豊玉) 5分44秒1 《4百メートル》 A 豊玉(佐伯・梅野・津村・長郷) 61秒6 高校生 豊玉(小田・古藤・平山・須川) 62秒2 中学生 峰(浅草・永留・青柳・阿比留) 56秒4 小学生 美津島(古郷・小宮・俵・梅野) 61秒3 《走幅跳》 A 佐伯真子(峰) 4m48

高校生 主藤奈津子(厳原) 4m33 《砲丸投》 A 武田充末(峰) 9m58 高校生 吉田紗百合(峰) 6m86 《円盤投》 A 武田充末(峰) 29m14 男子 A (年齢無制限)、B (30~39歳)、C (40~44歳)、D (45~49歳)、E (50歳以上) 女子 A (年齢無制限)、B (30歳以上)



走高跳の犬束選手



5000m新記録の土肥選手



円盤投優勝の武田選手



一般女子100m決勝



400mリレー(小学生女子)

# 中学生が体験学習

6月29日(土)7月2日まで、大船越中学校(城臺隆光校長)の全校生徒54名が、総合的な学習の時間を使って、市内の病院や消防署、保育園など21の事業所で、職場体験やボランティア体験を行いました。

これは、働くことの大切さや社会のしくみを理解し、将来の進路について関心を高めること、社会人としてのマナーや生活態度を学習することを目的として実施されたものです。

市内の中学校のほとんどが同様の体験学習を実施しています。7月には、大船越中学校のほか、比田勝中学校、仁田中学校、加志々中学校、久田中学校、佐須中学校が実施しました。



親愛保育園



大船越中

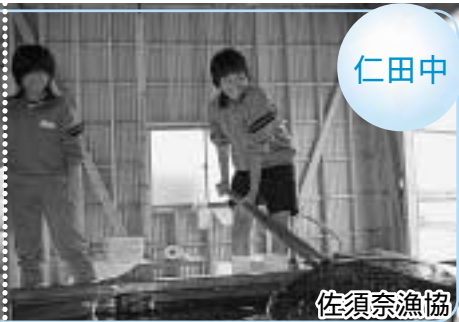
市消防署



比田勝海上保安署



小宮農園



仁田中

佐須奈漁協



比田勝中

上対馬病院



ワークハウス ほのぼの



対馬彩光園

久田中



みさき書店

加志々中



やなぎだ生花店



鈴木スタンド

佐須中



スーパーサイキョウ玉店

## 中学生リーダー研修

豊玉町ジュニア・サマースクール、美津島町子ども会ジュニアリーダー中央研修会が7月22日と23日、豊玉町「神話の里自然公園」で合同実施され、6校（雞知・今里・大船越・浅海・豊玉・加志々）54名の中学生が参加しました。

昨年までは、それぞれの町で単独で実施されていましたが、対馬市の誕生で今年は合同で実施されました。

この研修会は、集団生活のあり方と子供会活動に必要な基礎的能力、技術を身につけ

させ、リーダーとしての資質を高めるとともに各地区間の親睦を深めることを目的としたものです。

研修会は7つのプログラムから構成され班別研修会、テント設営、人権同和講義、箸・竹とんぼ作り、野外炊事、ナイトハイキング・親睦レク、ウォークラリーなどを体験しました。

初めての竹細工や野外炊事を体験した子供たち、友達もたくさんできて楽しい夏休みの思い出となりました。



竹とんぼ作り



野外炊事

## わくわく体験広場 「みねの舎」

6月19日、20日、峰町の県立対馬青年の家で、平成16年度第1回「みねの舎」が開催されました。

「みねの舎」は、峰町地区の小学校高学年を対象に、体験学習を通して、仲間づくり、団体生活のきまり、いじめや非行をしないこと等を自らが学べる広場です。

今回は、自然探索（ウォーキング）、福祉施設（丸山）訪問・研修、映画会、ふれあい釣り大会を行いました。



自然探索（ウォーキング）

## 非行・事故 防止パレード

7月3日峰町西部中学校区青少年健全育成協議会の主催で、非行、事故防止パレードが行われました。

パレードには、小中学校の児童、生徒、地元青年団、婦人会、PTA、交通安全母の会、警察、その他関係機関が参加し、地域住民の理解と協力を求めている呼び掛けが行われました。

パレード終了後、救命講習会が行われ、参加した小中学生は、消防士の説明を真剣に聞いていました。



## 南陽交通少年団入退団式

6月26日、上対馬町一重地区集会施設で、南陽交通少年団入退団式が行われました。この少年団は、南陽小学校の3年生から6年生で構成され、交通安全パレードや道路の空き缶拾いなどの活動を行っています。子どもの交通事故を防ぐには、ドライバーの安全運転だけでなく、子ども自らが交通ルールを学び守っていくことが大切です。地域や家庭ぐるみで、交通事故のない市をつくっていきましょう。



安全運転キャンペーン